



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月6日

上場会社名 ディービーエックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3079 URL <http://www.dvx.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若林 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 魚住 洋二 TEL 03-5985-6827

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	19,397	13.5	1,034	17.0	1,032	17.3	624	15.1
25年3月期第3四半期	17,092	13.4	884	26.7	880	27.8	542	44.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	110.70	—
25年3月期第3四半期	96.22	—

(注)当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,759	4,040	37.6
25年3月期	9,996	3,541	35.4

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 4,040百万円 25年3月期 3,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

26年3月期期末配当金の内訳 普通配当26円 東証二部上場記念配当2円

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,961	9.1	1,161	3.3	1,158	4.7	687	0.7	121.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ②①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③会計上の見積りの変更 : 無
 - ④修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	5,640,000 株	25年3月期	5,640,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,238 株	25年3月期	1,238 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	5,638,762 株	25年3月期3Q	5,638,762 株

(注)平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、個人消費が底堅く推移し、住宅投資も消費税率引き上げ前の駆け込み需要等を背景に大幅に増加したほか、公共投資も、復興需要や緊急経済対策の効果から増加することとなり、デフレ脱却に向けた取り組みに一定の効果が見られました。為替水準は、米国が金融緩和の縮小を決定したこと等により、当第3四半期末にかけて円安が進行する展開となりました。

医療機器業界におきましては、平成26年4月に実施される診療報酬の改定について、政府において検討が進められました。その結果、消費税率の引き上げによる医療機関の負担増を考慮して、医師の人件費等に当たる診療報酬本体が0.73%引き上げられる一方、医薬品や医療材料の公定価格である薬価及び材料価格が0.63%引き下げられることとなり、全体として0.1%引き上げられることが決定いたしました。

このような情勢のもと、当社では、経営の効率化や販売体制の強化に取り組み、業容の拡大を目指してまいりました。その一環として、平成25年4月に名古屋営業所と福井出張所を開設し、営業エリアの拡大に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は19,397,074千円（前年同期比13.5%増）、営業利益1,034,279千円（前年同期比17.0%増）、経常利益1,032,355千円（前年同期比17.3%増）、四半期純利益624,232千円（前年同期比15.1%増）となり、第3四半期累計期間としては、売上高・各段階利益ともに過去最高を更新いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、心臓ペースメーカーやICD（植込み型除細動器）、アブレーション（心筋焼灼術）カテーテル、電極カテーテル等の主力商品の販売数量が増加し、当第3四半期累計期間の売上高は15,995,697千円（前年同期比13.5%増）、セグメント利益は2,318,689千円（前年同期比21.2%増）となりました。

② 虚血事業

自動造影剤注入装置「ACIST」及びエキシマレーザ血管形成システムの関連商品の販売が好調に推移する一方、円安の影響により輸入商品の仕入価格が上昇することとなりました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,975,781千円（前年同期比15.7%増）となり、セグメント利益は1,027,777千円（前年同期比1.1%増）となりました。

なお、エキシマレーザ血管形成システムについては、従来血管形成用コロナリーカテーテル及び心内リード抜去システムの薬事承認を取得して販売しておりますが、平成25年12月に下肢末梢動脈治療用レーザカテーテルの国内治験届が受理され、治験を開始することとなりました。今後治験を経て承認申請を行い、平成28年に販売を開始する予定であります。

③ その他

当第3四半期累計期間の売上高は425,595千円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は53,480千円（前年同期比5.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ714,219千円増加し、10,040,935千円となりました。これは主に、運転資本の増加や借入金の返済等により、現金及び預金が356,248千円減少したものの、売上高の増加に伴って受取手形及び売掛金が896,022千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ48,812千円増加し、718,847千円となりました。これは主に、有形固定資産が29,097千円、投資有価証券が24,362千円増加する一方、無形固定資産が12,118千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ763,032千円増加し、10,759,782千円となりました。

（負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ293,015千円増加し、6,472,731千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴って買掛金が443,679千円増加する一方、賞与引当金が88,802千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ28,601千円減少し、246,696千円となりました。これは主に、長期借入金が47,162千円減少する一方、退職給付引当金が16,118千円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ264,413千円増加し、6,719,427千円となりました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ498,618千円増加し、4,040,354千円となりました。これは主に、四半期純利益により624,232千円増加する一方、剰余金の配当により140,969千円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は37.6%（前事業年度末は35.4%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、平成25年5月15日公表の「平成25年3月期 決算短信」における業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,188,666	2,832,417
受取手形及び売掛金	5,489,239	6,385,262
商品	470,215	639,224
繰延税金資産	110,000	72,000
その他	86,879	118,487
貸倒引当金	△18,285	△6,457
流動資産合計	9,326,715	10,040,935
固定資産		
有形固定資産	242,880	271,977
無形固定資産	42,815	30,696
投資その他の資産		
投資有価証券	193,557	217,919
差入保証金	105,573	116,799
繰延税金資産	75,000	71,000
その他	10,208	10,453
投資その他の資産合計	384,338	416,172
固定資産合計	670,034	718,847
資産合計	9,996,750	10,759,782
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,351,567	5,795,247
1年内返済予定の長期借入金	118,412	103,064
未払法人税等	255,000	183,000
賞与引当金	162,331	73,529
売上値引引当金	—	27,903
その他	292,405	289,987
流動負債合計	6,179,716	6,472,731
固定負債		
長期借入金	71,045	23,883
退職給付引当金	127,482	143,601
役員退職慰労引当金	65,868	69,031
その他	10,900	10,180
固定負債合計	275,297	246,696
負債合計	6,455,013	6,719,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	2,863,270	3,346,534
自己株式	△547	△547
株主資本合計	3,521,911	4,005,174
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,825	35,179
評価・換算差額等合計	19,825	35,179
純資産合計	3,541,736	4,040,354
負債純資産合計	9,996,750	10,759,782

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	17,092,021	19,397,074
売上原価	14,105,171	15,997,126
売上総利益	2,986,849	3,399,948
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	757,197	819,377
賞与引当金繰入額	70,746	73,529
役員退職慰労引当金繰入額	5,475	5,787
退職給付費用	17,198	25,097
その他	1,251,895	1,441,876
販売費及び一般管理費合計	2,102,512	2,365,668
営業利益	884,337	1,034,279
営業外収益		
デリバティブ評価益	—	4,201
保険解約返戻金	1,833	—
貸倒引当金戻入額	888	12,227
その他	2,952	1,411
営業外収益合計	5,675	17,839
営業外費用		
支払利息	1,854	958
為替差損	7,789	18,805
その他	3	—
営業外費用合計	9,647	19,764
経常利益	880,364	1,032,355
特別利益		
固定資産売却益	21	—
特別利益合計	21	—
特別損失		
固定資産除却損	0	788
特別損失合計	0	788
税引前四半期純利益	880,386	1,031,567
法人税、住民税及び事業税	385,697	373,837
法人税等調整額	△47,856	33,497
法人税等合計	337,841	407,334
四半期純利益	542,545	624,232

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。